

172年

建寧四年 熹平元年（漢）

皇帝

劉宏（漢靈帝）

皇后

宋氏（諱某）

皇太子

（空位）

三公

太傅：胡廣（死亡）

太尉：李咸

司徒：許栩 袁隗（前大鴻臚）

司空：宗?

その他の要職

太常：

光祿勳：

衛尉：

太僕：

廷尉：

大鴻臚： 袁隗

宗正：

大司農：

少府：

大將軍：

驃騎將軍：

車騎將軍：

衛將軍：

地方官

司隸校尉：段?(?~173)

揚州刺史：臧旻(172?~174?)

主な事件

- ▶ 熹平元年春三月壬戌、太傅の胡廣が薨ず《後漢書孝靈帝紀》
 - ▶ 夏五月己巳、大赦天下。熹平に改元する《後漢書孝靈帝紀》
 - ▶ 長樂太僕の侯覽は罪有りとして自殺した《後漢書孝靈帝紀》
 - ▶ 六月、京師で雨水《後漢書孝靈帝紀》
 - ▶ 六月癸巳、皇太后の竇氏が崩御する。《後漢書孝靈帝紀》
 - ▶ 秋七月甲寅、桓思皇后を葬る《後漢書孝靈帝紀》
 - ▶ 宦官が司隸校尉の段?を騙して太學の諸生千餘人を捕繫する。注に曰く、ある人が朱雀闕に「天下大亂。公卿は皆屍だ」と書いた。故に之を捕らえる。《後漢書孝靈帝紀》
 - ▶ 冬十月、渤海王の劉?が謀反を誣告される《後漢書孝靈帝紀》
 - ▶ 十月丁亥、劉?及び妻子は皆自殺する《後漢書孝靈帝紀》
 - ▶ 十一月、會稽の人である許生が自らを「越王」と称して郡縣を寇略する。揚州刺史の臧旻、丹陽太守の陳?を遣わして討ち破る。《後漢書孝靈帝紀》會稽の許昭は聚を集め自ら大將軍を称し、父を立てて越王と為す。郡縣を攻め破る《後漢書孝靈帝紀に引く東觀記》
 - ▶ 十二月、司徒の許栩が罷め、大鴻臚の袁隗を司徒と為す《後漢書孝靈帝紀》
 - ▶ 鮮卑が并州を寇略する《後漢書孝靈帝紀》
-
- ▶ 是?、甘陵王の劉恢が薨ず《後漢書孝靈帝紀》

生誕者

死没者

[PAGE TOP](#)

[171年 << ?](#) [>> 173年](#)